

### 3 教育に関する事項

教育に関する事項については、中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」と、この答申に至った審議プロセスの内容を十分に踏まえつつ、ここで提起されている大学教育の質の保証に係わる教学課題に対して自主的な検討を加えるとともに、本学独自の見識を示すことが求められる。

2008 年度は大学教育の質保証や国際的通用性確保の観点から、単位制の実質化を中心に検討を進めた結果、これを計画的に推進する「単位制の実質化ロードマップ」を策定した。今後、ロードマップに基づき、(1) 単位制の趣旨を踏まえた適切な授業時間の確保、(2) 学生の学習の促進策の検討、(3) 単位制の実質化を支える教育システムの内実化、(4) 教育内容・方法に係る現行の取り組みの改善に関して、2011 年度の実現を目指し具体的な検討を進めることとなる。また、教育内容・方法の改善に資する FD（ファカルティ・ディベロップメント）については、本学における定義を確立するとともに、大学教育開発センターと各学部の連携・協働を可能とする FD 活動の組織的体制を強化した。さらに、全学的に優れた教育内容、手法等について共有化が図れるよう FD 報告会の開催を検討した結果、2009 年度より実施することとなった。

大学院教育については「今後の大学院政策に係る検討について」を取りまとめ、これに基づき大学院政策の個別施策の具体化と実施策の検討を進めた結果、大学院の運営体制を強化した。

各学部・研究科の教育目標に沿って実施された 2008 年度の主な事業は以下のとおりである。